

長野

山梨・静岡

長野支局

〒380-0835 長野市新田町1508の2
2 明治安田生命長野ビル2階
026・234・2175 FAX026・238・0230

Eメール

nagano@mainichi.co.jp

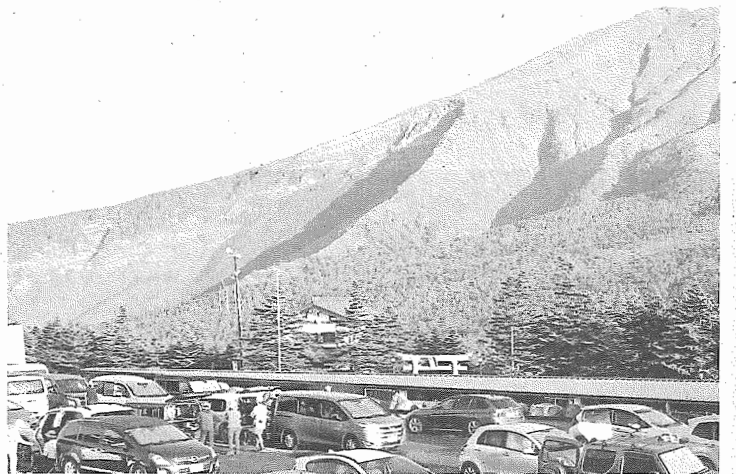
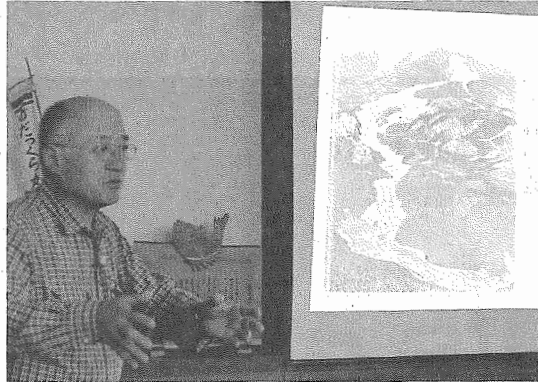
購読は ☎0120・468・012

長野	251・1500	篠ノ井	292・0271
野代	278・2257	坂城	82・2062
松代	245・0290	上田	24・7200
須坂	273・4781	小諸	22・0639
更奈	62・0516	軽井沢	44・3088
中田	82・2063	戸倉	272・0713
白根	42・2223	本谷	36・1111
丸井	275・1780	松岡	78・7870
上田	275・1780	諏訪	52・1107
山田	52・0722	下諏訪	27・7602
塩尻	27・8114	茅野	72・4198
東部	72・7455	野	82・3303
下諏訪	23・6269	駒根	83・7878
伊那	72・2024	穂	
飯田	22・1450		
白馬			
大町			
長野支局	026・228・2311		
松本支局	0263・32・1272		

広告

災害発生時に「まさか」では遅い

①長野県西部地震の爪痕を残す「御嶽崩れ」(山腹左側)＝王滝村田の原の御嶽山登山口で
②「御嶽崩れ」の航空写真を使用し、体験を説明する沢田義幸さん＝王滝村で



日ごろから防災意識を

長野県西部地震／御嶽山噴火 松本大生が現地学習

長野県の松本大学の学生30人は2日、王滝村を襲った1984年の「長野県西部地震」と、2014年の御嶽山(3067m)噴火を通じ、現地で防災学習を行った。地震について、当時村職員として対応した沢田義幸さん(67)が被災状況を説明。「それまで村では大きな自然災害がな

く、皆が「まさか」という思いだった」と話し、日ごろから防災意識をもつことが大切と強調した。

県によると、40年前の9月14日午前8時48分、御嶽山の南東山麓を震源とするマグニチュード6.8の地震が発生。村内で土砂崩れなどにより29人が犠牲になったほか、建物や

農林業施設に大きな被害が出た。御嶽山の南斜面には、崩壊地「御嶽崩れ」が今も残る。噴火は10年前の9月27日午前11時52分に発生。死者と行方不明者63人は火山活動で戦後最大の人的被害になった。

学習したのは、総合経営学部観光ホスピタリティ学科の3、4年生。御嶽山ビジターセンター「やまテラス王滝」で噴火の被災状況を学び、村公民館で沢田さんの話を聞いた。

御嶽山に何度も登っている沢田さんは、「以前から、火口に近い八丁ダルミ(山頂付近の尾根)を通る時、『今噴火したらどう対応すべきかを考えていた。日常から(リスクに)注意を心掛けてほしい』と呼び掛けた。学生らは木曾町にある同センター「さとテラス三岳」も訪れた。

学生は両災害を事前に調べていた。甲府市出身の古谷和真さん(20)は「被害を実際に見たら聞いた話と実感がわいたと話した。

上田市出身の女子学生2人は、「千曲川が氾濫した19年の台風災害で防災意識が高まり、防災士の資格取得を目指している」と話した。学生を指導している松本大地域防災科学研究所の入江さやか教授(60)は「現地で直接被害を見、生で当事者の話を聞けば、得るものは大きくなる」と話した。【去石信一】

気象庁「注意を」
気象庁は2日、長野、岐阜両県にまたがる焼岳で、山頂付近を震源とする微小な火山性地震が増加しているとして、今後の火山活動に注意するよう呼びかけた。山頂付近で突発的に火山ガスが噴出するなどの可能性がある。気象庁によると、火山性地震は5月23日から10日間で計64回、2日も午後3時までに15回あった。地震変動の観測では、山頂付近で緩やかな膨張を不変化を確認した。

【去石信一】

南アルプス倶サヨナラ負け
西関東予選
第95回都市対抗野球大会西関東予選(日本野球連盟)は3日、川崎市中原区の等々力球場で2試合が行われた。Cブロック代表決定トーナメント1回戦は横浜金港クラブが南アルプス硬式野球倶楽部を4-3でサヨナラ勝ち。Aブロックの代表決定戦は、E.N.H.O.Sが茅ヶ崎サザンカイツを12-0で降した。4日はB、Cブロックの代表決定戦が同球場である。【岡正勝】

終盤に乱れ涙
Vプロロック代表決定トーナメント1回戦
アルプス硬式野球倶楽部は2日、横浜金港クラブ(横浜小野)に2-1でサヨナラ勝ち。川口(南)と三塁打を奪った。東條(南)は2点差の七回2死満塁から二つの四死球で同点に追いつき、九回は磯部が左越えのサヨナラ打を放った。南アルプス俱は初回、先頭川口の三塁打で好機を作り先制。終始試合を優位に進めた。

被害女性の無念晴らす。情報を

「南アの画家遺体発見」4年

県警が呼びかけ

山梨県南アルプス市の山中で2020年に同市の画家、中辻アヤ子さん(当時71歳)の遺体が見つかった事件で、県警は3日、中辻さんが行方不明になった日から4年が過ぎたことを受け、JR甲府駅前などで情報提供を求めるチラシを配布した。

3日朝、同駅南口で大勝和彦・県警捜査一課長や佐野浩一・南アルプス署長ら捜査員約10人が、駅の利用者にチラシを手渡した。この日は南アルプス市のスノーパークでもチラシを配り、現場付近で検問を実施した。

大勝課長は「中辻さんの無念を晴らすべく殺人事件として捜査を継続している。さまざまな情報でも構わないのでお寄せいただきたい」と呼びかけた。県警などによると、中辻さんは20年6月2日、同市内の山中で風景画を描いていた姿を知人に目撃された後、行方が分からなくなった。同7月に近くで遺体が見つかり、落ち葉などで隠された形跡があった。県警は死体遺棄容疑で捜査本部を設置。23年、公訴時効(3年)を迎える直前に殺人容疑に切り替えた。県警はこれまで捜査員延べ約1万5000人を投入したが、有力な手がかりが見つかっていない。情報提供は南アルプス署(055・2822・0110)。



情報提供を求めるチラシを配る山梨県警南アルプス署の佐野浩一署長(中央)ら＝甲府市のJR甲府駅南口で

「五穀豊穡」早乙女、丁寧に
長野県諏訪市市洲にある諏訪大社上社の齋田で2日、鎌倉時代から伝わる「五穀豊穡の祭事」御田植祭があった。白装束に赤いたすき掛け、菅笠姿の早乙女が小雨の中、秋の稔りを祈って青々とした稲の早苗を手植えた。



長野県諏訪市市洲にある諏訪大社上社の齋田で2日、鎌倉時代から伝わる「五穀豊穡の祭事」御田植祭があった。白装束に赤いたすき掛け、菅笠姿の早乙女が小雨の中、秋の稔りを祈って青々とした稲の早苗を手植えた。

天気		洗濯		熱中症		紫外線	
長野	気温22/12℃ 降水確率 20%	4	1	3	3	3	3
松本	気温23/12℃ 降水確率 30%	3	1	3	3	3	3
飯田	気温24/12℃ 降水確率 30%	3	1	3	3	3	3

女は、耕作長の前澤要さんの指導でうるち米のスウィカを一株ずつ、計7条植え付けた。茅野市豊平出身で横浜市の会社員、木川知香さんの(左)は「難しかったけど、いい経験になった」と笑顔だった。収穫した稲は11月23日の上社新嘗祭で神前に供え、神事でも使用される。【宮坂一則】

指数情報(項目は季節で変わります)
■紫外線指数
世界保健機関のUV指数を基準に1日の最大の紫外線の強さを予